

やつおまち やまだむら
旧八尾町・山田村地域における「ユニバーサルツアー&インバウンド事業」

創業のための「スローアートツーリズム」に関する調査研究事業

八尾スローアートショー実行委員会

1. はじめに

第20回の研究助成事業により、かつては蚕種等の取引で「蚕都」と称されるほどに栄華を極めた「八尾旧町」の歴史や文化が偲ばれる「旧数納邸」等を拠点に「コミュニティカフェ」や新産業創出に繋がるアートプロジェクトに関する調査研究事業を実施した成果と北陸地域づくり協会の指導助言を踏まえ、第21回研究助成事業においては、「八尾スローアートショー実行委員会」と連携する個人及び団体と更に協働し、「八尾旧町」の街並みや歴史的文化資源、周辺農村部の日本の原風景や福祉力を活かしながら国際的にも選ばれる観光交流資源へと発展させる「スローアートツーリズム」の推進について調査研究を行った。

- (1) 八尾スローアートショー実行委員会の開催
- (2) 杉風荘・旧数納邸を活用する体験プログラム（継続事業）
- (3) 多文化共生等推進プログラム（新規事業）



2. 背景や必要性

「旧数納邸」がある八尾旧町の市街地は、平成19年度から街並みの景観整備が進められ、商店街においては、観光商業の推進をテーマに地域振興事業が実施されてきたが、通年での観光客は平成15年の69万人（内、風の盆で約20万人）をピークに伸び悩んでいる。

それでも全国から毎年60万人以上が訪れているのに、商店街への回遊が少なく、経済効果に乏しいことから、後継者は育たず、小規模事業者の廃業が止まらず、街の賑わいが大きく減少し、このまま推移すれば10年後には商店街消滅の危機にあり、周辺の中山間地域の少子・高齢化は更に深刻化している。

このことから、若い事業者等を「人財」に旧八尾町・山田村地域における「インバウンド事業」創業の機運が高まっており、北陸新幹線が開通し、東京オリンピックが近づくこの機を逃さずに八尾旧町の街並みや歴史的文化資源等を活かしつつ国際的に通用するユニバーサルな観光交流資源に転換を図ることや「バリアフリーツアー」の受入体制の構築が課題となっていた。

3. 事業概要と特徴

事業を持続させる観点から八尾スローアートショー実行委員会に名称を変更し、平成16年度から平成22年度までの7年間に渡り、取壊し前の木造校舎を地域再生の地域資源に活用して開催した「八尾スローアートショー」における「アーティスト・イン・レジデンス」の目的及び意義・効果を再構築して地方創生のための活性化事業に繋ぎ直すことや「移住・定住・交流・対流」の促進及び里山の環境保全等を基本理念に据えた「スローアートツーリズム」の推進手法について調査研究を行った。

富山市八尾山田商工会の「経営発達支援計画」に基づき、旧八尾町及び山田村に残されている地域資源をそのままに活用する着地型観光の推進やインバウンド事業の創業等を「多文化共生」の観点から支援するとともに、東京オリンピックの開催等でこの先に需要が見込まれる障がい者や高齢者等が安心して八尾を旅するバリアフリーツアーを誘致する体制の構築等の「スローアートツーリズム」の推進に関するユニバーサルな体験プログラムの開発等について調査研究事業を行った。

(1) 八尾スローアートショー実行委員会 (9回)

新たな人財の募集に努めながら、本研究助成事業の成果を得るため事業計画の時点修正や進捗管理を行った。 (<https://www.facebook.com/yatsuo.slowart/>)

(2) 「杉風荘」、「旧数納邸」を活用する体験プログラム(継続事業)

古くから商業の町として栄え「おわら風の盆」や「曳山祭り」等の町人文化が栄えた「歴史と文化が薫る八尾地区」において歴史的な価値がありながら利用されていない「旧数納邸」や「杉風荘」等を活用し、住民の暮らしを支えるコミュニティカフェを開設し、アートプロジェクトを実施することで、八尾地区の「まちなか」の再生を図り、より深刻な中山間地域が抱える人口減少、担い手不足に対応したコミュニティビジネスに繋がる移住・定住・交流促進事業を通年的に開催する関係を構築するため、継続して調査研究事業を行った。

①観光客の休憩スペース・ボランティアガイドの待機施設としての活用

旧数納邸については、平成28年4月1日から富山市八尾山田商工会に3年契約で富山市から貸付され、商工会が支援するインバウンド事業者の宿泊型ゲストハウス「越中八尾ベースおやつ」として管理運営されることとなり、杉風荘については、富山市が計画中の空き家再生等推進事業における八尾旧町の空き家を滞在体験施設等に改修し活用する「空家等対策計画」に関連する新たな活用が検討されている。

ボランティアガイドの待機施設については、5月1日から商工会及び観光協会が民家を借

受けて改修した観光案内施設の「風来坊」を越中八尾観光ボランティアガイド「風の案内びと」の専用の案内所として運営開始された。

このことから、旧数納邸を活用してインバウンド事業を展開する株式会社 OZ Links をサポートする体験プログラム等の実施や、杉風荘を会場とする「能楽ワークショップ」を持続して開催できる体制の確立について、広く人財を募集し、調査研究事業を行った。

- ・越中八尾ベースおやつ「ネパール国立舞踏劇団ナーツガル」おもてなし体験
- ・越中八尾ベースおやつ「能楽ワークショップガイドツアー」の会場



②コミュニティカフェ・ギャラリーや芸術活動の場としての活用

本年度の活用調査に関しては、「アーティスト・イン・レジデンス」の再開を視野に富山市八尾ゆめの森交流施設における新たな芸術活動の展開及び坂のまちアートの併催イベント等の企画を新たな人財を募集して行った。

杉風荘については、平成 28 年度事業のオープニングイベントとして開催した「能楽ワークショップ」継続して開催することとし、越中八尾観光ボランティアガイド「風の案内びと」に依頼して講師及び東京からの参加者を対象に「能楽モニターツアー」を実施した。

- ・八尾ゆめの森こども元気村「八尾ゆめの森アートショー2016 秋」
- ・越中八尾ベースおやつ「坂のまちアート」&カフェ
- ・杉風荘「能楽ワークショップ」



(3) 多文化共生等推進プログラム（新規事業）

国内外の上質な来街者や働き学ぶ外国人研修生等に受け入れられる観光文化・対流資源へと成長させるための「意欲ある若い人財」の育成及び挑戦の場、インバウンド事業のゲストハウスとしての「旧数納邸」及び「杉風荘」の活用策を「多文化共生」の観点から確立するために富山ネパール文化交流協会八尾・山田支部を設立し、中山間地域の交流促進施設として設置されている八尾ゆめの森体験農園やこども元気村をスローアートツーリズムの拠点として持続的に活用する方策について調査研究を行った。

また、八尾駅前や中山間地域の古民家等で、慣れ親しんだおわらや農村文化で多文化と共生

した「ユニバーサルツーリズム」及び障がい者及び高齢者等が安心して暮らせる福祉力を活かした「バリアフリースター」について調査研究し、誰もが持てる力を発揮し活躍できる「地方創生」のエンジン（人財・地域資源）の創出について調査研究を行った。

①富山ネパール文化交流協会八尾・山田支部の設立

- ・国宝瑞龍寺「砂曼荼羅」奉納 ※G7エクスカージョン
- ・八尾ゆめの森アートショー2016夏の開催
出演：ネパール国立舞踏劇団ナーツガル 他
- ・ネパール・富山エゴマプロジェクト事業等の企画立案



②G7「環境相会議」を契機とする八尾ゆめの森「観郷」講演会等の開催

カドミ汚染農地復元用の客土母材基地の跡地に整備された八尾ゆめの森交流施設は子ども達の自然環境知識習得施設であり、G7や富山市の環境未来都市との今日的な関連性等について、八尾小学校の全校生徒が参加する「八尾ゆめの森体験農園」における農業体験の日に環境保全について学習する機会を提供し、生徒等が「環境保全＝観郷」をテーマに製作した看板を展示する「ゆめの森アート展」を開催する。

- ・体験農園における学習機会の提供
- ・ゆめの森アート展」作品募集（八尾小学校・八尾保育所）
- ・八尾ゆめの森アートショー2016秋の開催



③スローアートツーリズムに関する調査研究

- ・天蚕「縦の糸・横の糸」絆プロジェクト事業によるオリジナル商品開発
- ・越中八尾駅周辺市街地・八尾ゆめの森周辺・山田村牛岳周辺等における地域資源調査
- ・外国人や障がい者・高齢者等が八尾を旅するためのユニバーサルツーリズム調査研究
- ・バリアフリー観光受入体制の構築のための調査研究



4. 期待される具体的な成果（地域等への波及効果）

（1）「杉風荘」、「旧数納邸」を活用する体験プログラム（継続事業）

富山県「とやま観光未来創造塾」の塾生として、岐阜県飛騨市の「美ら地球（ちゅらぼし）」で研修を積み、旧数納邸をベースにインバウンド事業を起業した「原井紗友里」氏が最大限の能力を発揮できる環境を整える役割の一端を担うことができた。

「能楽ワークショップ」の参加者を対象に「能楽モニターツアー」を開催したことで八尾地域の情報発信と越中八尾観光ボランティアガイド「風の案内びと」に研修の機会を提供することができた。

（2）多文化共生等推進プログラム（新規事業）

日本に永住する外国人が100万人以上いる多文化共生社会に既になっていることや来日中の留学生や研修生も人財になり得ることを富山ネパール文化交流協会八尾・山田支部を設立し、外国人留学生等モニターツアーを実施することで地域住民等にも周知することができた。

旧数納邸が、八尾旧町のインバウンド事業のベースとして活用される一方で、中山間地域のベースになる施設が必要と考えられることから民営化後の八尾ゆめの森こども元気村等の利活用策について調査研究することができた。

5. 成果の活用及び本事業の継続の方策

助成事業の成果については、政府の観光立国推進による成長戦略に関連する経営発達支援計画（H28～H32）を策定し、着地型観光商品づくりと観光商業への転換を目指している「富山市八尾山田商工会」と連携することで活用できると考えている。

着地型観光商品づくりには、今ある地域資源を洗い出し、誰からも魅力的に感じられるように磨き上げることができる有能な人財の創出が必要ですが、散策の拠点となり地域の「文化」や「歴史」が体感できる施設、地域ならではの「食」が楽しめる施設、ゆっくりと時間を消費できる「宿泊施設」等を運営する「人財」の創出については、富山県の「とやま観光未来創造塾」の塾生として、先進地である飛騨市古川町の「美ら地球（ちゅらぼし）」で研修を積み重ね、旧数納邸をベースにインバウンド事業を起業した「原井紗友里」氏や塾を終了された先輩諸氏等との連携を強化する考えである。

また、外国人や障がい者・高齢者等が八尾を旅するためのユニバーサルツーリズムに関する調査研究の際に連携した越中八尾駅前「ソーシャルラウンジ YOROZUA ひばり」を起業した一般社団法人 Ambities 等が今後企画する社会的貢献事業に提案・共催することで、高校生から大学生ま

での若い世代が持てる力を発揮し、地域において活躍できる「地方創生」のエンジンの創出に努める考えである。

富山県バリアフリーツアーセンター（仮称）の設立に関しては、国及び富山県等の観光施策を注視しつつ、県内で取組を既に開始している社会的起業団体や移動支援を行う福祉事業者の動向をも勘案し、日本バリアフリー観光推進機構及びバリアフリーツアーに詳しい旅行業者等と連携しながら NPO 法人設立のための調査研究を継続することとしている。

八尾ゆめの森アートショー等を継続して実施するための方策については、2018 年 3 月末までに八尾ゆめの森こども元気村の管理や体験交流事業等を受託できる法人格を有する別団体を実行委員を中心に設立し、県内外の旅行業者等と通年的に提携することで持続させる計画としている。

富山ネパール文化交流協会八尾・山田支部としての活動については、ネパールと富山で「えごま」を栽培するプロジェクト及びネパールからの農業研修生を受入れるプロジェクト等を軌道に乗せるための事業計画を作成することとしており、平成 28 年度に砂曼荼羅を奉納した高岡市の国宝瑞龍寺との連携においては、蓮の花を植える事業やバリアフリー観光のための調査を行う計画としている。

◆宣伝・誘客活動

- ・誘致対象先を絞り込む ⇒ 活動すべきことを絞り込む ⇒ 台湾
- ・台湾人留学生によるトリップアドバイザー的な活動の推進 ⇒ 多文化共生
- ・売込み内容を絞り込む ⇒ 受入体制を絞り込む

◆着地型ツアーの造成

- ・地域・地区の絞込み
 - 八尾は ⇒ 八尾旧町と八尾ゆめの森周辺 ⇒ 春～秋・2月の冬浪漫
 - 山田は ⇒ 牛岳周辺 ⇒ 冬（雪遊び・スキー）・温泉
- ・観光名所の磨き上げ、追加する仕掛けの絞込み
 - 中国語（台湾語）ガイド ⇒ 訪れたくなるスポットの開発・リサーチ
- ・コンセプトの深堀：衣・食・住・遊・農・環・芸・癒・健・集

◆物販・交流の創出

- ・素材等の絞込み
 - 台湾と日本の歴史・物語の合体 ⇒ 天蚕の物語・冬のまつり

富山ネパール文化交流協会八尾・山田支部
外国人留学生等モニターツアーの継続実施

◆情報発信：発信方法の絞込み

- ※日本橋とやま館の活用 ⇒ 天蚕商品の展示「富山県・富山市等の後援承認」
- ※天蚕「縦の糸・横の糸」絆プロジェクト事業 ⇒ 京都きものファッション協会と連携
- ※一般社団法人 Ambities との連携強化
- ※一般社団法人懐石協会との連携強化

◆受入体制の充実

- ・富山県民謡おわら保存会福島支部との連携強化
- ・通訳ガイドの育成・確保
 - ※在住外国人の育成・確保（ダイバーシティ富山・富山国際学院等との連携）
 - ※富山県在住の台湾人の調査・人材確保
- ・ソーシャルラウンジ-YOROZUYA-ひばりの機能強化
- ・台湾人観光客受入について牛岳周辺の宿泊施設に協力を依頼
 - 中国語案内看板等の設置
- ・外国人観光客への販売促進
 - ※持ち帰りが容易な和紙商品・天蚕商品の開発

◆ 広域連携

- ・周辺団体等との広域的連携等による魅力ある観光エリア、周遊ルートの形成
 - ※飛騨市との連携 飛騨の旅の案内図の高山本線に記載されていない越中八尾駅を追加しても
らうためのアクションが必要
 - ※在住外国人からの指導・助言・委託（富山国際学院等との連携）
 - ※台湾の観光旅行会社へのPR
 - ※石川県バリアフリーツアーセンターと連携協定
 - ※日本バリアフリー観光推進機構との提携